

令和4年

目黒区教育委員会

第1回定例会会議録

(令和4年1月11日開催)

第1回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和4年1月11日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 寛

出席職員	教育次長	谷合祐之
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	関 真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	香川知子
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	石邑由紀子
	統括指導主事	工藤邦彰
	生涯学習課長	高山和佳子
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		佐藤洋一
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	協議事項	令和4年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の新採択について
日程第2	報告事項	令和4年度目黒区一般会計当初予算原案について
日程第3	報告事項	目黒区学校施設更新設計標準について(案)
日程第4	報告事項	区立小中学校におけるプール整備の検討の進め方について(案)
日程第5	報告事項	令和3年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第6	報告事項	令和3年度 いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について
日程第7	報告事項	令和3年度 目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について
日程第8	報告事項	区立学校における新型コロナウイルス感染者の発生について
日程第9	報告事項	令和4年1月実施の「成人の日のつどい」実施結果について

資料配布

- ・学校統合推進課だより(南部・西部地区版) No.30

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和4年第1回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員はいません。欠席職員は生涯学習課長です。署名委員は、片山委員です。  
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和4年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の新採択について(協議事項))

- 教育指導課長 (資料により説明)  
○教育長 説明が終わりました。  
ただいま教育指導課長から説明のあったとおりですが、昨年8月3日の本委員会において決定した特別支援学級の教科用図書について、油面小学校特別支援学級の教科書で再度の採択が必要となったものです。  
この件についてご質問等がありますか。  
特にないようですのでこの協議を了承します。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 令和4年度目黒区一般会計当初予算原案について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)  
○教育長 この件についてご質問等がありますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区学校施設更新設計標準について(案)(報告事項))

- 学校施設計画課長 (資料により説明)  
○教育長 この件についてご質問等がありますか。  
○委員 昨年ある中学校の研究発表会に伺った際、トイレの洗面台の蛇口の水圧が凄まじく、跳ねた水が床を汚していました。また、髪の毛も散乱しており、床が汚れたままになっていましたので、そういった汚れを自発的に掃除しようという気持ちを持てる人になれるよう生徒を指導してもらえると嬉しいです。これは要

望です。

- 学校施設計画課長 1点目の蛇口の水の勢いについては、飛び散ることのないよう調整します。

次に、掃除については、いただいたご意見を学校に伝えてまいります。

- 教育指導課長 掃除について補足しますと、児童・生徒の清掃の機会は週に何回か設けて行っているところですが、個々に汚してしまった場合は、それぞれが片づけ、又は処理することが基本となるよう、生活指導を行っているところです。

ただ、トイレに関しては、児童・生徒が主体的に清掃する箇所ではなく、清潔さを保つため、用務主事が清掃を行う箇所となっています。

- 委員 このような施設を建造する際は、長期間利用するため、環境に配慮することが重要であると思います。資料24ページの3-6に脱炭素社会の実現を目指す旨が記載されており、その中で太陽光発電設備の導入についても取り上げられているので、このような設備の導入も必要だと思います。

ただ、その下にコストバランスを十分に検討する必要がある旨も記載されています。脱炭素社会や気候変動の課題を配慮すると、コストは上がるのでしょうか。また、この太陽光発電設備の導入はどの程度の規模で行う予定か教えてください。

- 学校施設計画課長 環境に配慮した設備についてですが、例えば、断熱性の向上や高効率機器の採用は、イニシャルコストとランニングコストの検討が今の技術レベルでも可能と考えています。太陽光発電設備は、発電効率の面から学校施設に採用するメリットについて十分に検討する必要があると考えています。ただ、公共施設としての社会的な影響や、学校としての教育的な効果といった視点もありますので、その点も考慮しながら検討していきます。設置規模については、建物の屋根の形状によって変わりますが、できるだけ子どもたちに見える形で設置していきたいと考えています。

- 委員 6ページの教育活動をより充実させるための学校施設についてですが、この項目はとても重要なポイントだと思いました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を学校施設で充実させる上では、様々な課題が生じると思います。例えば、東山小学校は、個別最適な学びと協働的な学びを充実させることのでき

る素晴らしい施設ですが、整備計画でこの施設と同水準のものを他にもつくれるのかコストの観点などから疑問があります。

そのため、この項目を取り扱う上では、紙面により具体的な記述を行うことが必要だと思います。例えば、同ページの(1)の「活動の変化に柔軟に対応できる空間整備が求められる」という記述では、空間整備を具体的に数字で表現できるのかについても検討する必要があります。様々な考えがあるので、同じ基準で議論ができるよう、より具体的に記述することについて検討してもらいたいと思います。

- 学校施設計画課長 委員のご意見のとおり、6ページに書いてあるこの内容は、学校の設計全般にわたって必要な観点と考えていますが、具体的にどうしていくかを明確に記述しにくい内容です。

これまでの学校の建替えにおいては、この観点での具体的な取組が幾つかあり、17ページにはオープンスペースについて記載しています。このオープンスペースというものは、子どもたちの多様な学習に応じるための空間といえます。次に、19ページでは教科センターについて記載しています。目黒中央中学校で行っている運営方式ですが、これも子どもたちの学びを支える重要なものです。これらは、学校建築において非常に重要なテーマで、他の設置者においても、これらのテーマについて日々研究している内容といえます。今後学校の設計を進めていく際には、これらの点について十分に検討を深めていかなければならないと考えています。

- 教育長 今後の予定についての記述がありますが、この中で「(案)」が取れるのはいつになるのか教えてください。

- 学校施設計画課長 今回の教育委員会終了後、事務局で決定して案を取る予定です。

- 教育長 用語解説についてですが、例えば7ページを見ると、「ユニバーサルデザイン」や「インクルーシブ教育システム」についての解説があります。一方、24ページには「パッシブデザイン」などの用語がありますが、解説がありません。全体的にもう少し用語解説が必要だと思いますが、事務局の見解を教えてください。

- 学校施設計画課長 設計標準の中には多数の専門用語を使用しています。教育長のご指摘を踏まえて、分かりにくい用語については巻末に用語解説を追加します。

○教育長            その他ご質問等ありますか。  
                      特にないようですのでこの報告を受けました。  
                      次に日程第4を議題とします。

(日程第4            区立小中学校におけるプール整備の検討の進め方について  
(案) (報告事項) )

○学校施設計画課長   (資料により説明)

○教育長            この件についてご質問等はありませんか。  
                      特にないようですのでこの報告を受けました。  
                      次に日程第5を議題とします。

(日程第5            令和3年度小・中学校卒業式祝辞について (報告事項) )

○統括指導主事       (資料により説明)

○教育長            ただいま統括指導主事から説明がありましたが、前回、卒業式  
の祝辞について、小学校・中学校共通の題材として、「東京  
2020オリンピック・パラリンピック競技大会」とすることに  
決定しました。これを受けて事務局で文案を用意しましたので、  
本日から3回にわたって文案に対するご意見をいただきます。  
前回と同様に、各委員の皆様にご意見を順番に伺うという  
ことでよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長            それでは、それぞれの委員の方からご質問を含め、ご意見等  
をいただきます。

○委員             小学校の祝辞についてですが、13歳の金メダリストは身近  
に感じますし、ボランティアスタッフについても、保護者の中  
でボランティアを行った人もおり、身近に感じる話だと思います。  
これに加えて、医療従事者の話もあり、盛りだくさんという  
印象を受けましたが、子どもたちの心に残るものでもあります。  
また、7段落目の「誰かのために自分にできることを精一杯行  
おうとするボランティアマインドを培ってきました」という記述も  
よいと思います。

次に、中学校の祝辞についてです。こちらもちょうど盛りだくさんと

いう印象を受けましたが、中学生ですので、大丈夫だと思います。また、7段落目のまとめのところは、心に響いてほしいよい文章です。

○委員

小学校の祝辞の21行目に「誰かのために自分にできることを精一杯行おうとするボランティアマインドを培ってきました」という記載がありますが、卒業生が主役ですので、「精いっぱい行うことの大事さが理解できた」などに言葉を変えたほうがよいと思います。

次に中学校の祝辞の24行目に「その学びや体験活動等を通じて、多様性を尊重し、互いの違いを認め合う姿勢などをより培ってきています」という記載がありますが、「その学びや体験活動等を通じて、多様性を尊重し、互いの違いを認め合う姿勢などが培われたことと思います」としたほうがよいと思います。

○委員

祝辞は、会場で読み上げるものですので、耳で聞く言葉が心地よい形で子どもたちに受け取られるように、言葉遣いにより注意をすべきだと考えます。

中学校の祝辞の6行目で「試行錯誤を繰り返し、多様な他者と協力して」という記載がありますが、「多様な他者」という箇所で行が続く点と、「協力」という文言がか行であるため、言葉として語感が強くなる点が気になりました。「試行錯誤」という文言も、し行は聞き取りづらいため、不十分なしゃべり方をすると、聞き手に負担をかけると思います。また、その後に「多様な他者」と続きますので、この辺りの言葉遣いについては、聞き手を意識して、練り直す必要があると考えます。完成まで時間はありますので、耳に響く言葉という観点を大事にしていきたいと思います。

また、小学校と中学校の祝辞に共通することですが、オリンピック・パラリンピックで活躍した人の個人名を出した方がインパクトが強くなると思います。例えば、小学校の祝辞の13歳の金メダリストに個人名を入れるのはどうでしょうか。

中学校の祝辞では、ジェンダー平等として、男女混合競技に注目されたのは素晴らしいことです。ここでは400メートルユニバーサルリレーという具体的な競技名が出てきます。さらに、男女各2名の4名が出場し、銅メダルに輝く活躍があった旨の記載がありますので、個人名を出してもよいのではないかと



と思います。

○委員

どちらもオリンピック・パラリンピックを題材にして、小学校のほうはボランティア、中学校は多様性をテーマによくまとめられていると思います。

ただ、気になった点が何点かあります。小学校の祝辞の④のところで、「皆さんが五年生のときに開催され、観戦にも参加する予定だった」という箇所ですが、最後まで聞くと、オリンピックが延期されたことが分かりますが、出だしだけ聞くと、5年生のときに開催されたと誤解を与えかねないと思います。また、「一年越し」という言葉遣いが分かりづらいので、延期されて開催された旨をシンプルに記述したほうが分かりやすくなると思います。ぜひ検討してください。

また、小学校の祝辞の⑤で、ボランティアスタッフが消毒等を行った旨の記載がありますが、ボランティアスタッフのもとの仕事の内容は競技会場の準備や後片づけなどであり、本来業務に加えて消毒を行ったとした方がよいと思います。

次に、小学校の祝辞の7段落で、「これまでの学校生活の中で、オリンピック・パラリンピックを学ぶ体験活動等を通して」と記載されていますが、ボランティアマインドを培ったものとしては、オリンピック・パラリンピックだけを挙げればよいのではないかと思います。

中学校の祝辞については、他の委員の指摘と重複しますので、私から付け加えることはありません。

○教育長

4人の委員にご意見をいただきましたが、さらに付け加えたいご意見などありますか。

それでは、私から1点意見を述べます。中学校の祝辞についてですが、8行目に「東京2020大会の」という省略した形での記載があり、10行目で「東京2020オリンピック競技大会では」と記載されていると、オリンピックにしか触れていないという誤解を招きかねないので、8行目のところで2020オリンピック・パラリンピック競技大会と記述したうえで、まずオリンピック競技大会について、次にパラリンピック競技大会について話を展開した方が聞き手にやさしいつくりになると思います。

4人の委員の方から様々なご意見をいただきましたが、いただいたご意見を持ち帰り、それを基にして、小学校、中学校それ

ぞれの文案にまた必要な修正を施し、次回、再度お示しし、それについてさらにご意見をいただくこととしますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でこの報告を受けたこととします。

次に日程第6を議題とします。

(日程第6 令和3年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について(報告事項))

○教育指導課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等ありますか。

○委員 私は、今回3中学校区の見学をさせてもらいました。

その感想になりますが、小学5年生と中学2年生と一緒に話し合う時間がとても有意義だと感じました。また、この子ども会議までに、それぞれの学校で子どもたち一人ひとりが時間をかけてこの課題について検討してきたことも伝わりました。今後、もしそのクラスでいじめが起きたとしても、この子どもたちであれば、そのいじめについて皆で考えて話し合う時間を持つてると思いました。

○委員 項番6の成果と課題の課題のところ「可能な限り代表学年児童・生徒全員が参加する」と記載されていますが、代表学年児童・生徒全員が参加することを原則とし、やむを得ない場合に絞り込んだ児童・生徒数でやるという旨をより強調してはどうかという印象を受けました。こども会議に参加する意義は大変大きいと考えていますので、今後実施する際には、対象者の全員参加が実現できるよう尽力していただきたいと思えます。素晴らしい会議を続けていくためにも検討をよろしく申し上げます。

○教育指導課長 委員ご指摘のとおり、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえたうえで、感染症拡大防止の手だてを図りながら代表学年児童・生徒全員が参加することを基本として進めていきたいと考えており、文教・子ども委員会でも、この考え方に基づいて報告してまいります。

○教育長 その他ご質問等ありますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第7を議題とします。

(日程第7 令和3年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について  
(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○教育長 資料の裏面の表についてですが、下の表に「上の表以外でこれまで認定された教員」という記載があります。これは授業スペシャリストに認定されたけれども、現時点では目黒区外に異動している教員という理解でよろしいでしょうか。

○統括指導主事 下の表に記載されている「これまでに認定された教員」については、退職又は区外等に異動した教員を記載しています。

○教育長 その他ご質問等ありますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第8を議題とします。

(日程第8 区立学校における新型コロナウイルス感染者の発生について  
(報告事項))

○教育指導課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第9を議題とします。

(日程第9 令和4年1月実施の「成人の日のつどい」実施結果について  
(報告事項))

○教育次長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 出席率を見ますと、男女ではつきりと差が出ており、男性よりも女性の出席率が明らかに下回っていると思いますが、この点について事務局の見解を教えてください。

○教育次長 現実としてそういう状況がありますが、特段その傾向や直接的な理由については、把握していません。

○委員 個人的な意見ですが、女性の場合、晴れ着を着てくる方が多いため、その負担が大きいのではないかと思うのですが、可能

であれば、なぜ女性のほうが出席率が低いのか、その原因を調べていただきたいです。原因によっては、少しの工夫で改善できることもありますので、よろしくお願いします。

○教育次長 成人の日のつどいにつきましては、参加者に毎回アンケートを実施しています。様々なご意見、自由意見等もいただいています。今回はオンラインによる意見募集でしたが、その点についても確認し、今後よりよい成人の日のつどいにしていきたいと思えます。

○委員 出席した方へのアンケートもあると思えますが、参加しなかった方がなぜ参加しなかったのかが知りたいです。難しいとは思いますが、その原因を探っていただきたいです。晴れ着でいらっしゃる方は素敵だと思いますが、晴れ着で参加することが負担になっている可能性もあります。参加しない理由を確認して、その理由が改善できるものであれば、改善によりなるべく多くの方が参加できる成人の日のつどいになるとよいと思えます。

○教育次長 教育委員会では様々な事業を行っています。青少年委員など様々な方のご意見等も頂戴できる機会もありますので、成人の日のつどいの手法や開催の考え方、アナウンスの仕方など、改善する余地もあると思えます。これからも様々なご意見を頂戴したいと思えます。

○教育長 今、委員から晴れ着に関するお話がありましたが、かつて晴れ着が必要か否かについて盛んに議論された時期がありました。最近では成人式と晴れ着を結びつける形でメディアが報道を行っているように感じていますので、服装のアナウンスについても教育委員会として検討していく課題の1つではないかと個人的に考えているところです。

○教育長 その他ご質問等ありますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布  
・学校統合推進課だより（南部・西部地区版）No.30 〕

○教育長 資料配布についてご質問等がありますか。

○委員 最近、複数の区民の方とお話しする機会があったのですが、

大岡山小学校の改築期間の仮校舎が第八中学校になるのではないかという噂が広まっている印象を受けました。根拠のない噂が独り歩きすると、それを聞いた区民の方がよい印象を持たない可能性がありますので、広報の頻度を増やすなど、情報発信の仕方に気を付け、より小まめに行う必要があると思います。その点について今後検討してください。

○学校統合推進課長 委員のご指摘のとおり、大岡山小学校の建替えも同じ学区内で行われます。その点に関して、事務局でも情報整理をしっかりと行い、正確な情報が伝わるよう周知を徹底していきたいと考えています。

○教育長 その他なにかございますか。  
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時7分閉会)